

I 学校教育目標		調和のとれた人間形成をめざし、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、また新しい時代の創造者として心豊かでたくましい人間を育成する。					
II 前年度に残された課題		III 本年度の重点課題				IV 来年度に残された課題	
1 学力向上のための方策「授業研究週間」の持ち方について工夫改善し充実を図る。 2 3年間を見通した「心の教育」の充実及び「将来の生き方を考えさせる進路指導」の充実 3 「いじめや問題行動」の早期発見・早期対応に向けた教師の資質向上のための研修を深めるとともに、校内組織、校内体制の充実。 4 部活動及び各学校行事の教育的意識の再確認と充実。 5 保護者への情報提供と連携及び地域の方々の教育活動への参画		1 学力向上のための方策 2 3年間を見通した「心の教育」の充実及び「将来の生き方を考えさせる進路指導」の充実(系統的発展的計画) 3 「いじめ」防止のための組織作りと心の教育の充実 4 部活動及び学校行事の教育的意義の再確認と充実 5 保護者への情報提供				1 学力向上のための方策として、一定の成果は見られたが、引き続き「わかりやすい授業づくり」に向け、「研究授業」の持ち方について工夫改善を図り、充実した取り組みをする。 2 3年間を見通した心の教育のさらなる充実に努める。(講演会や出前授業の系統的発展的計画)(将来の生き方を考えさせる等進路に関する情報提供) 3 「いじめや問題行動」を教師が早期発見・早期対応につなげられるよう、教師の資質向上に向けて研修を深める。 4 部活動及び各学校行事の教育的意識の再確認と充実。 5 保護者への情報提供と連携に加え、地域の方々の教育活動への参画。(ボランティア活動)	
項 評 目 価	具体的達成目標と評価指標	中間 自己評価	外部アンケートの分析		自己評価		学校関係者評価
			児童生徒アンケート	保護者アンケート	最終評価(成果と課題)	課題の改善策等	
1	○授業時間の確保と効率的運用 ○授業研究週間の実施・学校公開週間の実施 ○読書活動の充実(朝読書・各学年ブックトークの実施) ○学力補充(テスト前及び長期休業中) ○出前授業による生徒の興味、意欲の喚起	B ○授業研究の進め方について検討をし、実践していく。 ○テスト前や長期休業中に学力補充を実施し、学力向上に努めている。 ○出前授業については、より充実した内容になるよう精選を進める。	○「わかりやすい授業に努めた。」平成28年度4.4 平成29年度4.2 ○「通知表などを通して生徒の学習の達成度をわかりやすく示している」平成28年度4.2 平成29年度4.3 どちらも比較的高い数値である。今後、より一層わかりやすい授業づくりに向けて、古風、改善に努めたい。	○「わかりやすい授業に努めた。」平成28年度3.9 平成29年度3.8 ○「通知表などを通して生徒の学習の達成度をわかりやすく示している」平成28年度4.1 平成29年度4.2 学習の達成度については、比較的高い評価であるが、わかりやすい授業については、生徒や教職員と比較する低く、保護者が理解できるよう学力向上に取り組むたい。	B わかりやすい授業については、生徒や教職員は比較的高い評価であるが、三者を比較して見ると保護者の評価が低い。 道徳の教科化に向けて、1年全クラス、2年全クラスで道徳の研究授業を実施し、研修を深めた。 出前講座を活用し、将来の生き方について学習できるよう取り組んだが、保護者、生徒、教職員とも評価は低かった。	○研究授業の持ち方について工夫改善を図り、「わかりやすい授業」の充実したものにさせたい。学校の授業への取り組みをどのように伝えていか検証する必要がある。 出前講座などについて、生徒の実情・実態に合わせての内容になるよう精選するとともに、3年間を見通した計画を立て、より充実したものにしたい。	「わかりやすい授業づくりについて」それぞれの感じ方の違いもあり難しい課題ではある。 授業を受けている子どもの評価より保護者の評価が低いがなぜか、疑問である。 今後も授業力の向上のための研究授業等の充実した取り組みをお願いしたい。
2	○いじめ対策委員会の運営 ○3年間を見通した心の教育の充実(講演会や出前授業) ○3年間を見通した「将来の生き方を考えさせる進路指導」の充実 ○小中連携(授業参観) ○「命の大切さを考える月間」の取り組み(講演会、全校合唱、生徒アンケート実施、ふれあいタイムの実施(二者懇談))	B ○6月を「命を大切にす月間」と定め、講演を行い生徒への意識づけをする。 ○生徒に生活アンケートを行い、それをもとに教育相談を行い、悩み相談やいじめの実態把握に努めている。 ○いじめのアンケート調査をもとに、いじめ対策委員会を開催し取り組んでいる。 ○年2回「ふれあいタイム(二者面談)」を行い、悩みやいじめの実態把握に努める。	○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」平成28年度4.0 平成29年度3.9 ○「人権や命を大切にす心の行動力を育てるようしている」平成28年度4.4 平成29年度4.3 いじめの早期発見・早期対応にむけた教育相談やアンケート調査を実施しているが、見えにくい「いじめ」の実態があるようで、日々の教育活動を通して、一層子どもたちの関係づくりに取り組むたい。	○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」平成28年度3.9 平成29年度3.8 ○「人権や命を大切にす心の行動力を育てるようしている」平成28年度4.1 平成29年度4.1 生徒の評価と比較すると低い値となっている。見えにくい「いじめ」の実態があるようで、日々の教育活動を通して、一層子どもたちの関係づくりに取り組むたい。	B いじめのアンケート、生徒の生活アンケートをもとに、いじめ対策委員会を学期に一度、開催を行い生徒の実情・実態を把握し、早期対応に努めた。 生徒の心の安定を考え、教育相談のあり方、生徒との関係づくりについて、道徳の授業をカウンセラーが行い、教師も参観し、教師の資質向上に努めた。 「いのちの大切さを考える月間」での取り組みにも成果が見られた。 ふれあいタイムなど生徒の悩みやいじめの把握に努めたが、より一層日々の教育活動で子どもたちとの関係づくりに努める必要がある。	いじめアンケートや生活アンケートを受けて、いじめ対策委員会を定期的に開催し、対応に努めた。カウンセラーの授業や教育相談のあり方などの研修を通して、教師が日々の教育活動を通して早期発見、早期対応につなげられるよう取り組み、より充実させ教師の資質向上に努めたい。 「いのちの大切さを考える月間」について、本校の柱となる取り組みとなるよう今後も一層充実させたい。	いじめや問題行動の対応が保護者に見えにくく、取り組みなどの情報配信が今後の課題ではないか。 講演等を通して「命の大切さ」、「人権」について考えさせる機会である。今後もより一層充実した内容になるよう取り組みをお願いしたい。 あいさつや社会のルールやマナーを守る態度については、比較的良好でできているのではないかと。社会生活の基本であり、保護者とともに今後も指導願いたい。
3	○部活動における日々の指導の充実 ○正副キャプテン会議の実施 ○3年間を見通した学校行事の計画と実施	B ○正副キャプテン会議を実施し、リーダー育成に努める。さらに、部活動の充実に努めたい。	○「部活動の指導に熱心に取り組んでいる」平成28年度4.3 平成29年度4.3 比較的高い評価を得ているが、今後もより一層充実した活動となるよう取り組むたい。	○「部活動の指導に熱心に取り組んでいる」平成28年度4.2 平成29年度4.1 生徒より高いが、比較的高い評価である。それなりの成果が見られた。今後もより一層の充実に努めたい。	B リーダー育成のための「正副キャプテン会議」を教師を中心に実施し、リーダー育成に努めた。今後も、より充実したものとなるよう検討していく必要がある。	「正副キャプテン会議」については、一定の成果は見られた。教師間で情報交換を行い指導内容を共有し、より良いものとしたい。教師の部活の指導について、校務の関係があるが、努力したい。	部活動は熱心。先生方も情熱を持って指導されている。アンケート結果からも充実した活動になっているように感じる。 部活動の指導について、外部指導者などスクールボランティアとして地域の協力も考えてみてはどうか。
4	○学校公開週間の実施 ○HPの更新 ○メールによる情報配信(週1回) ○きめ細かい家庭への連絡の徹底 ○ボランティア活動の充実	B ○HPの定期的な更新に努めたい。 ○メールによる情報配信をし、きめ細かい家庭への連絡に努めたい。 ○校長通信を不定期ではあるが配布する。	(評価項目なし)	○「学校の様子等を通信やHPなどで伝えている」平成28年度4.2 平成29年度4.1 「子どものことについてきめ細かく家庭に連絡している。」平成28年度3.9 平成29年度3.9 より良い情報配信に努めたい。	B HPの内容を一部工夫するとともに、定期的な更新に努めた。さらなる学校の様子などの情報配信に工夫が必要である。 メールによる情報配信については好評である。	学校の様子等の情報配信について、HPの役割分担など工夫し、定期的な更新ができるようにしたい。学校メールの配信についても内容等検討していく必要がある。 メールによる情報配信は好評であった。	おおむね好評である。日頃の取り組みがよくわかる。 メール配信で、行事予定や配布物が分かり有り難い。 ホームページの更新について、定期的に行うように。